（別紙2）　　平成　25　年度　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　作成日　平成　25 年　9 月　8 日

1　自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3972400331		
法人名	有限会社　エフヴェール		
事業所名	グループホーム　エフヴェール		
所在地	高知県吾川郡いの町天王北4丁目8-7		
自己評価作成日	平成25年6月10日	評価結果 市町村受理日	平成25年9月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=3972400331-00&PrefCd=39&VersionCd=022

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780－8567 高知県高知市朝倉戊375－１　高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成25年7月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

私達のグループホームは民家改修型なので家庭的でアットホームです。部屋は季節の花や季節の飾りつけをし、食事にも季節の野菜を使ったり、懐かしい食材を使って食事を出したりして工夫をしている。 その人らしさの維持向上と自立支援につとめている。小さい庭だが個人別にトマトを鉢に植えて、各自が水をやって育てている。「実がなった」「赤くなった」「後で外へ観に行こう」と利用者同士が誘いあったり、のんびりと毎日の生活を楽しむことを支援しています。一人ひとりの思っている事、希望など職員間で情報を共有し楽しく暮らして頂くよう工夫をしている。地域の喫茶店、飲食店に外食に出かけたり、コミュニティセンターで地域の方々と体操、サロンにも参加させて頂いている。地域で暮らし続けること、地域と支え合いを重視した援助をしている。 また、個別支援ということも心がけて支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所は住宅団地の一般住宅を改築した施設であり、外観が周囲に溶け込んでいる。庭にトマトやすいか等の季節の野菜や果物、花を植え、利用者は思い思いに世話をし成長や収穫を楽しみにしている。団地のなかにある事業所として住民との交流は多く、地域のコミュティセンターでの体操、茶話会などに参加し、コミュニティセンターは利用者の憩いの場であると同時に地域住民との絆を深める場となっている。また、ボランティアが事業所で催し物をするときは、近隣住民にも声をかけている。事業所は、看護師を配置して24時間いつでも医療機関と連絡できる体制にあり、町保健師の協力も得て適切な受診や健康管理ができている。代表者は事業所運営を理解し、職員は管理者を中心にチームワーク良くまとまって利用者を中心としたサービスの提供に努めている。今後も地域と共に支え合いながら発展が期待できる事業所である。

自己評価および外部評価結果

ユニット名：

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	（1）	**○理念の共有と実践** 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所独自の理念があり、職員会で話し合い地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていく。 運営理念を見やすい所に掲示し管理者と職員は運営理念を共有し実践している	地域との支え合いを重視した理念を作成しており、職員会や朝のミーティングで理念を振り返りながら、利用者が地域で安心して暮らし、その人らしい生活ができることを目指して、理念に沿ったケアに取り組んでいる。	
2	（2）	**○事業所と地域とのつきあい** 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のコミュニティセンターへ月３～4回（体操、歌　茶話会）行かせて頂いている。夏祭りなどに参加したりボランティアの訪問を受けたりして地域の人々と交流することに努めている。月1回公園の掃除に行き地域活動にも参加している。地域住民の一員として町会、自治会に加入している	地域のコミュニティセンターで開催される体操、歌、茶話会に参加し、地域の２０～３０人の参加者と日常的に交流している。また、事業所でボランティアによる行事がある時は、近隣の住民に声かけしたり、地域の一員として公園の掃除や地区の夏祭りに参加している。	
3		**○事業所の力を活かした地域貢献** 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎月1回歌やギター、舞踊、紙芝居などボランティアの方に来て頂いたり、利用者と共に公園の草引きやゴミ拾いをするように取り組みをしといる		
4	（3）	**○運営推進会議を活かした取り組み** 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部の人々の目を通して事業所の取り組み内容や具体的な改善課題を話し合ったり、報告や情報交換したりしたことをサービス向上に活かしている。 家族から相談があった場合、どんな些細なことでも対応し検討してケアの向上に活かしている	運営推進会議では事業所の現状や、行事予定の報告など行い、参加者から率直な意見や提案が出せるように配慮している。会議の開催を行事の時期に合わせるなど工夫し、家族や地区の民生委員に声かけしてできるだけ多くの参加メンバーが出席できるよう努めている。	
5	（4）	**○市町村との連携** 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	いの町福祉課に出向き、行き来する機会を持っている。いの町包括支援センターとは密に連絡を取り合い入居者を受け入れする際にも協力して頂いている。町の研修などにも参加しサービスの向上に活かしている	町の地域包括支援センターからは、入居に関する相談や情報提供のほか、訪問もある。事業所からも町の福祉課に出向いて連絡を密にとり、町主催の研修に参加するなど協力体制が築かれている。	
6	（5）	**○身体拘束をしないケアの実践** 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	日頃から代表者、全職員が身体拘束の内容、弊害を認識し身体拘束のないケアを実施している。　玄関、自室のドアなどの施錠についても身体拘束であることを認識し安全を確保しながら自由な暮らしを支援するよう取り組んでいる	事業所独自に身体拘束廃止に関する方針を作成している。年１回の外部研修に参加した職員が伝達講習を行い、身体拘束の弊害について職員全員で理解を深め、共通認識をもって身体拘束をしないケアに取り組んでいる。外出傾向のある利用者はいないが、さりげない見守りや、利用者人数に留意しながら拘束のないケアを実践している。	

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		**○虐待の防止の徹底** 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	管理者や職員は高齢者虐待防止関連法について研修に行ったり職員会で学ぶ機会を持ち、職員による虐待を徹底防止に努めている		
8		**○権利擁護に関する制度の理解と活用** 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	特に必要性がないので話し合い、支援はしてない		
9		**○契約に関する説明と納得** 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書や重要事項説明書は契約の際に口頭で説明し、利用者や家族の不安、疑問を尋ね、十分な説明を行い理解、納得の上、署名捺印をもらっている		
10	(6)	**○運営に関する利用者、家族等意見の反映** 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者や家族(面会時)に意見、要望を聞き、運営推進委員会出席者や外部の人にも伝え、出された意見等を前向きに考えサービスの質の向上に反映させている。言うことをためらっているのではと思われる利用者、家族には気配りをし意見、要望を出してもらえるよう配慮する	事業所の敬老会とクリスマス会では利用者、家族と昼食を共にし、ゲームや景品のプレゼントで打ち解けた雰囲気を作り、その後４～５人の家族で話しあいの場を持って意見や要望を出してもらうようにしている。出された意見については、検討し運営に反映している。	
11	(7)	**○運営に関する職員意見の反映** 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	2ヶ月に1回、職員会を行い職員の意見、提案を十分に聴き、全員で話し合い運営に反映させている。毎朝30分ほど連絡事や情報交換、意見を言う時間を設けている	職員会や朝のミーティング、日々の業務の中で情報交換を行い、意見や要望を聞く機会を設けている。職員の提案により、利用者が個別にトマトを鉢に植えて世話をし成長や収穫を楽しむようになったことなど、運営に反映した事例がある。	
12		**○就業環境の整備** 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員全員が向上心を持てる職場を目指している。職員の努力や実績、勤務状態などを把握し職員処遇への反映を心がけている		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		**○職員を育てる取り組み** 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修情報を職員全員に提供し、研修の計画をたて研修を受ける機会の確保に努め、研修報告書の提出や職員会で発表してもらっている		
14		**○同業者との交流を通じた向上** 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	主にグループホーム連絡協議会の参加や他のグループホームとの交流会を積極的に行いサービスの質の向上に取り組んでいる		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		**○初期に築く本人との信頼関係** サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者が入所を納得した上で受け入れる。認知症によって表現が障害されている場合であっても、本人と向き合いながら本人の声に耳を傾けたり、本人の気持ちを受け止めることに努めている		
16		**○初期に築く家族等との信頼関係** サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の立場になり家族等の話しをしっかり聴き、受け止めながら関係を築くことに努めている		
17		**○初期対応の見極めと支援** サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に基本情報を聴き取り、本人、家族等の実情や要望を知り、その時点で何が必要か見極め、できることは速やかに対応するように努めている		
18		**○本人と共に過ごし支えあう関係** 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一緒に掃除、モップ掛けをしたり、洗濯たたみ、花を植えたり食事の下ごしらえなどをしたりテレビの話題を話したり、共に笑ったりする関係を築いている		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		**○本人を共に支えあう家族との関係** 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会、外出、外泊、通院など家族の方が可能な限り実施して頂くよう働きかけている		
20	(8)	**○馴染みの人や場との関係継続の支援** 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友達や家族に絵手紙、年賀状などの交流に努めている。地域の行事などに積極的に参加し知っている人達に会って話しが出来るように支援をしている	地域のコミュニティセンターの行事に参加したり、地元の量販店で買物をしたりするなかで、馴染みの関係ができている。顔見知りになった住民と挨拶や会話を交わし、関係が途切れないように支援している。家族や友人に年賀状も出している。	
21		**○利用者同士の関係の支援** 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ホームの家事手伝いやテレビ、ビデオを一緒に観たりレクレーションなどで一緒に楽しんだり。散歩に行く時も自然に相手をいたわり手をつないであげたりする光景があり、見守り、支援に努めている		
22		**○関係を断ち切らない取組み** サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されても運営者、職員はお見舞いに行ったり、相談があれば可能な限り相談に応じるよう努めている。また、退所後も家族が畑で採れた野菜、果物を持ってきてくれたりしてホームを大切にしてくれている		
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	**○思いや意向の把握** 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中で職員全員が一人一人の思いや意向に気を付け把握し、職員全員で情報共有し、本人の視点にたって考え取り組んでいる。特に入居時に本人及び家族から丁寧に話しを聴き意向にそうようにしている	入居時に利用者、家族から生活歴、暮らし方の希望や趣味などを聞き、一人ひとりの思いを把握している。意思疎通の困難な利用者はいないが、会話に消極的な利用者については、日頃から気のついたことを職員間で話し合い、本人の希望に沿えるように支援している。	
24		**○これまでの暮らしの把握** 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	プライバシーに配慮しながら職員や運営者が家族等と馴染みの関係を築きながら、把握した事を毎日のサービスに利用することに努めている		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		**○暮らしの現状の把握** 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りノートや引継ぎの際など本人の一日の流れを把握して、本人の持っている強み弱みを発見する事に努め、本人に適した介護支援を全職員で対応できるよう努めている		
26	（10）	**○チームでつくる介護計画とモニタリング** 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族の意向を確認、主治医、看護師、職員の意見も含め、自立支援を主体として、アセスメント、モニタリングを繰り返し、毎日新たな気持ちで介護計画を作成している	定期的にモニタリングやアセスメントを行い、利用者や家族から意見を聞くほか必要な関係者と話し合って介護計画を作成している。設定した期間での見直しのほか、状態の変化などがあれば、随時見直しを行っている。	
27		**○個別の記録と実践への反映** 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	身近にいる職員から事実やケアの気付きを正直に書いてもらっている。情報を共有しながら、より良いケアができるよう日々記録を確認し、介護計画の見直しに活かしている		
28		**○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化** 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ショートステイ、デイサービスの多機能性の認可はなし		
29		**○地域資源との協働** 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方のボランティア、地域の体操、歌、茶話会に継続して参加をし防災訓練など地域の力を借りて安心できる暮らしを楽しむことが出来るよう支援をしている		
30	（11）	**○かかりつけ医の受診支援** 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	緊急時を除いて、本人、家族の希望の掛かりつけ医に受診したり、地域の歯科や天王診療所の先生に往診をして頂くなど支援をしている。緊急時は家族、本人の希望をする医療機関を確認している	利用者全員が地元の協力医である診療所をかかりつけ医としており、月2回の往診を受けている。受診結果は、家族に連絡して情報の共有を行っている。病状急変時は希望する医療機関を確認し対応することにしている。	

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		**○看護職との協働** 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、日常の健康管理、受診など医療支援を24時間いつでも連絡が取れる体制を取ると共に医療連携体制を取っている		
32		**○入退院時の医療機関との協働** 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した入居者への支援も含め家族と共に主治医、病院の相談員、看護師との連携を密にし治療が出来、早期退院できるよう支援をしている		
33	(12)	**○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援** 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	平素より本人、家族に重度化した場合の基本的な対処についての意向を確かめるようにしている。その時が来た際には職員全体で話し合い、家族、医療関係者と連携を図りながら支援をしている	入居時に事業所の看取りに関する指針を説明し、その後介護度などの状況変化にあわせて、利用者、家族、医療関係者等と話し合い、再度確認して希望に沿った支援が出来るよう態勢を整えている。また、看護師も配置しており、24時間いつでも連絡できる体制にしている。	
34		**○急変や事故発生時の備え** 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変、事故発生時に備え全職員で、応急手当、初期対応の訓練、話し合いを定期的に行い、研修などの機会がある時は参加して		
35	(13)	**○災害対策** 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の具体的な事は全職員で話し合っている。日頃から近燐の方ともいい関係をつくる努力はしている。　飲料水、食料、トイレなどの対策はできているし職員会で確認し合っている	防災訓練は、年2回消防署の指導を受けながら現状の課題意識をもって実施している。地域住民の参加協力も得て、炊き出しなどの訓練も行っている。食糧や水は消費期限を表示して備蓄し、玄関には手作りの防災頭巾やネームプレートも用意しており、職員の防災意識は高い。	
Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	**○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保** 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の尊厳と権利を守るのは基本であるので、全職員で常に確認、対応している。本人のプライドを傷つけないよう気配り、目配りして対応するように努めている	職員会の後で、内部研修を行い利用者一人ひとりの人格を尊重することを周知徹底している。常に利用者の尊厳を損ねないよう配慮し、入浴、排泄、更衣などの場面では、さりげない対応を心がけプライバシーの保護に努めている。	

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		**○利用者の希望の表出や自己決定の支援** 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いや希望をなるべく尊重しつつ働きかけているが、安全面や業務上ゆとりがなく本人の思いに添えないことがある。その際は出来るだけ丁寧に説明して納得して頂けるようにしている		
38		**○日々のその人らしい暮らし** 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事、入浴などは別として、その日の過ごし方は望むようにするというのが原則であるが、本人と家族の思いが違う場合があるが何度も話し合い支援している		
39		**○身だしなみやおしゃれの支援** その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節に合わない服を着たりする時は適切に誘導する。美容院は家族が連れて行かれたり、家族が来られない場合はホームへ美容師に来てもらい、本人と家族の希望に添うように支援している		
40	（15）	**○食事を楽しむことのできる支援** 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る能力、本人の関心などで一緒にする人は限られているが、一応全員には声かけをするようにしている。昼食は入居者、職員が同じ物を食べ、食事の事で話しがはずむこともある	調理の下ごしらえ、配膳、下膳など利用者同士で役割分担ができており、その人が出来る事を大切にした支援を行っている。軽音楽を聞き会話もしながら皆で食事を楽しんでいる。食事や水分の摂取量はチェック表で把握している。	
41		**○栄養摂取や水分確保の支援** 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	カロリー不足、栄養の偏り、水分不足が起こらないようチェック表で確認をしている。不足の時は本人の好みに合わせた物や、時間をずらして摂取してもらったりして看護師が立てた目標に達するように支援している		
42		**○口腔内の清潔保持** 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、就寝前には職員の声かけや見守りで口腔ケアを支援している		
43	（16）	**○排泄の自立支援** 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄の失敗、おむつの使用を減らすよう、より自立した排泄を目指して全職員と支援をしている。実際、部屋のポータブルをのけてトイレに行くようになった例もある	排泄チェック表で利用者一人ひとりの排泄パターンを把握しており、昼間は全員がトイレを使用するよう誘導し、排泄の自立を目指した支援を行っている。昼間は紙パンツから布パンツになった利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		**○便秘の予防と対応** 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員は便秘の原因や及ぼす影響を理解し運動、食事の工夫をしたり水分補給を勧めたりする.　　　　便秘傾向のある方は医師に相談し処方薬を服用している		
45	（17）	**○入浴を楽しむことができる支援** 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	原則、毎日入浴可能。職員2名配置。利用者に無理強いをしないで、本人の意向で入浴するように支援している	毎日入浴できるよう声かけしており、概ね週２～３回の入浴ができている。入浴を嫌がる利用者には、声かけの仕方や時間を工夫し、家族の協力を得たり職員のチームワークで取り組んでいる。入浴できない時は足浴や清拭をしたりして清潔保持に努めている。	
46		**○安眠や休息の支援** 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間は原則自由だが、昼夜逆転傾向のある方は、ある程度誘導をし、安心して眠れるよう良眠を支援している		
47		**○服薬支援** 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理については個人別に管理をすると共に、薬については受診記録や申し送りノートで薬の目的、用法,用量、副作用などを理解し、飲み忘れ誤薬をしないよう確認に努めている		
48		**○役割、楽しみごとの支援** 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	身体的に難しい方もいるが可能な限り、したい事が出来て生活意欲が増進するように気配りをしている。.洗濯たたみ、食事の準備や貼り絵など本人の関心や能力に応じて支援している		
49	（18）	**○日常的な外出支援** 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	春秋など気候が穏やかなときは、ホームの環境も良く公園も近くにあり、散歩に出かける機会が多い。 また、毎月、利用者の意見を聞いて、車で出かけ花の見学や外食するなど支援をしている	散歩は、利用者の体調などに考慮しながら毎日行っている。近くに公園もあり、適度の散歩コースになっている。月１回は利用者全員で外食に出かけたり、季節の花見やドライブにはボランティアの協力も得て外出支援に取り組んでいる。外出時は、その人らしいおしゃれを楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項　目	自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	外部評価 次のステップに向けて期待したい内容
50		**○お金の所持や使うことの支援** 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	原則ホームでお金は預かっているが、近所のスーパーへおやつなど、自分がほしい物を買いに行ったりして自分でお金を払うという支援をしている。月末には領収書と小使いノートの確認を家族にしてもらうようにしている		
51		**○電話や手紙の支援** 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に出来るようにしているが、プライバシーに配慮しながら本人が手紙を書いたり電話したりすることを支援している		
52	(19)	**○居心地のよい共用空間づくり** 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂には生活感、季節感を感じる花やひな人形、5月人形、ささの葉などを飾り、出来る限りリラックスできる雰囲気作りを工夫している。家族が季節の花や食べ物など持って来てくれたり、ホームの庭に一人一人のミニトマトの鉢があり、利用者が水やりの世話をして楽しんでいる	玄関周辺のプランターに季節の花や野菜を植え、食堂兼居間には、ソファー、テレビなどを配置し、壁には利用者の折り紙細工や手芸品、硬筆、毛筆、手作りカレンダー、行事の写真などが飾られ利用者にとって馴染みのある、思い思いにくつろげる清潔な共用空間になっている。	
53		**○共用空間における一人ひとりの居場所づくり** 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	手狭であるが出来るだけ配慮している。利用者の方は玄関の椅子、ソファーでゆっくり過ごされている		
54	(20)	**○居心地よく過ごせる居室の配慮** 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の能力と家族の事情に応じて可能な限り、 使い慣れた物を持って来てもらい、自分自身の部屋として落ち着けるよう工夫をしている。利用者に担当の職員がおり、利用者と一緒に服の入れ替えや危ない物がないかなど安心して過ごせるよう工夫をしている	災害に備え、居室の家具を箪笥から衣装ケースに変えたり、危険を防止する対策をしている。ベッド、籐椅子、ソファー、家族写真、ぬいぐるみ等好みの物を持ち込んで自宅との差異を感じさせないよう、その人らしく暮らせる居心地がよい居室にしている。	
55		**○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり** 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	場所の確認の為トイレや風呂などドアに貼り紙をし自室の入り口にも本人の名前を貼って安心できるよう工夫をしている		

ユニット名：

Ⅴ．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）

	項　目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の
			2. 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある
			2. 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている （参考項目：9,10,19）	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）		1. 大いに増えている
		○	2. 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている （参考項目：11,12）	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
		○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
		○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどできていない